



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場会社名 京阪電気鉄道株式会社
 コード番号 9045 URL <http://www.keihan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括室 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 加藤 好文
 (氏名) 長濱 哲郎

TEL 06-6944-2527

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	70,887	4.2	8,519	15.2	7,761	18.9	5,107	26.2
25年3月期第1四半期	68,039	11.1	7,395	48.1	6,528	56.7	4,047	68.9

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 6,776百万円 (171.5%) 25年3月期第1四半期 2,495百万円 (111.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	9.08	—
25年3月期第1四半期	7.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	654,763	163,444	24.5
25年3月期	653,462	158,121	23.8

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 160,671百万円 25年3月期 155,436百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	129,400	△0.2	10,600	△13.1	8,500	△16.4	5,300	△19.3	9.42
通期	274,400	△1.7	19,700	△15.4	15,700	△17.1	9,200	△17.0	16.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	565,913,515 株	25年3月期	565,913,515 株
26年3月期1Q	3,559,986 株	25年3月期	3,546,087 株
26年3月期1Q	562,357,792 株	25年3月期1Q	562,408,412 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、海外経済の不確実性が引き続き大きいものの、東日本大震災からの復興需要や各種政策の効果などにより、持ち直しの動きがみられました。

このような経済情勢のもとにおきまして、当社グループでは、各事業にわたり積極的な営業活動をおこなって、業績の向上に努めました結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は708億8千7百万円（前年同期比28億4千8百万円、4.2%増）、営業利益は85億1千9百万円（前年同期比11億2千4百万円、15.2%増）となり、これに営業外損益を加減した経常利益は77億6千1百万円（前年同期比12億3千2百万円、18.9%増）となりました。さらに、これに特別損益を加減し、法人税等を控除した四半期純利益は51億7百万円と、前年同期に比較して10億5千9百万円（26.2%）の増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間よりセグメント区分を一部変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

当第1四半期連結累計期間のセグメント別の状況

	営業収益			営業利益		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
運輸業	22,990	23,035	0.2	2,855	3,187	11.6
不動産業	17,927	20,640	15.1	3,675	4,283	16.6
流通業	23,438	23,180	△1.1	556	706	27.0
レジャー・サービス業	6,480	6,689	3.2	270	299	10.8
その他の事業	384	419	9.2	16	23	48.5
計	71,221	73,965	3.9	7,372	8,500	15.3
消 去	△3,182	△3,077	—	22	19	—
連 結	68,039	70,887	4.2	7,395	8,519	15.2

①運輸業

鉄道事業における当第1四半期連結累計期間の当社の運輸成績は、総旅客数は7,204万人と、前年同期に比較して27万人（0.4%）の減少となり、これに伴い、当社の旅客運輸収入は125億2千5百万円（前年同期比0.6%減）、これに運輸雑収を加えた鉄軌道事業営業収益は133億1百万円と、前年同期に比較して5千1百万円（0.4%）の減収となりました。

しかしながら、各社において増収施策への取り組みもあり、運輸業全体の営業収益は230億3千5百万円と、前年同期に比較して4千4百万円（0.2%）の増収、営業利益は31億8千7百万円と、前年同期に比較して3億3千1百万円（11.6%）の増益となりました。

②不動産業

不動産販売業におきましては、「京阪東ローズタウン」「けいはんな公園都市」「東豊中プレミアム」などの土地建物を販売いたしました。また、マンションでは、「ファインシティ大阪城公園」「A s t a n d a r d 本郷三丁目」「ファインフラッツ京都西院 ザ・レジデンス」などを販売いたしました。

不動産賃貸業におきましては、平成24年10月26日に開業した「京阪くずは駅ビル南館」が通期で寄与いたしましたほか、既存の賃貸ビルにおいても稼働率向上に努めました。

これらの結果、不動産業全体の営業収益は206億4千万円と、前年同期に比較して27億1千2百万円（15.1%）の増収となり、営業利益は42億8千3百万円と、前年同期に比較して6億8百万円（16.6%）の増益となりました。

③流通業

流通業におきましては、各事業において積極的な営業活動に努めましたが、KUZUHA MALL第2期開発計画の進捗に伴い、同施設西館およびKIDS館などを閉鎖したことなどにより、流通業全体の営業収益は231億8千万円と、前年同期に比較して2億5千7百万円（1.1%）の減収となりました。一方、経費の減少などにより、営業利益は7億6百万円と、前年同期に比較して1億5千万円（27.0%）の増益となりました。

④ レジャー・サービス業

ホテル事業におきましては、円安によるインバウンド需要を着実に取り込むことができたほか、各ホテルにおいて積極的な営業活動を展開し、稼働率の向上及び収益力の強化に努めました。

これらの結果、レジャー・サービス業全体の営業収益は66億8千9百万円と、前年同期に比較して2億8百万円(3.2%)の増収となり、営業利益は2億9千9百万円と、前年同期に比較して2千9百万円(10.8%)の増益となりました。

⑤ その他の事業

その他の事業全体の営業収益は4億1千9百万円と、前年同期に比較して3千5百万円(9.2%)の増収となり、営業利益は2千3百万円と、前年同期に比較して7百万円(48.5%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が増加したことなどにより、前連結会計年度末から13億1百万円(0.2%)増加し、6,547億6千3百万円となりました。

負債につきましては、工事代金等の支払いに伴い未払金が増加したことなどにより、前連結会計年度末から40億2千1百万円(0.8%)増加し、4,913億1千8百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が増加したことなどにより、前連結会計年度末から53億2千2百万円(3.4%)増加し、1,634億4千4百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、前回公表数値(平成25年4月30日)から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,851	25,413
受取手形及び売掛金	22,354	18,174
有価証券	347	732
販売土地及び建物	75,764	76,487
商品	1,733	1,674
繰延税金資産	2,637	2,866
その他	9,187	10,823
貸倒引当金	△280	△265
流動資産合計	134,596	135,906
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	182,195	180,416
機械装置及び運搬具(純額)	12,460	11,896
土地	222,783	223,139
建設仮勘定	26,004	27,149
その他(純額)	8,643	8,346
有形固定資産合計	452,086	450,948
無形固定資産	7,593	7,414
投資その他の資産		
投資有価証券	37,661	39,842
長期貸付金	395	393
繰延税金資産	2,333	1,577
その他	18,851	18,735
貸倒引当金	△54	△54
投資その他の資産合計	59,186	60,493
固定資産合計	518,866	518,857
資産合計	653,462	654,763

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,096	10,297
短期借入金	80,546	82,857
短期社債	1,000	—
1年内償還予定の社債	10,376	10,376
未払法人税等	4,777	2,638
繰延税金負債	0	0
前受金	24,091	23,474
賞与引当金	2,634	1,305
商品券等引換損失引当金	331	337
その他	43,086	36,962
流動負債合計	176,940	168,250
固定負債		
社債	70,987	80,902
長期借入金	160,942	155,807
長期未払金	2,238	2,176
繰延税金負債	8,530	8,628
再評価に係る繰延税金負債	36,189	36,189
退職給付引当金	14,558	14,670
役員退職慰労引当金	628	581
その他	24,325	24,112
固定負債合計	318,400	323,068
負債合計	495,340	491,318
純資産の部		
株主資本		
資本金	51,466	51,466
資本剰余金	28,818	28,818
利益剰余金	37,258	40,090
自己株式	△1,373	△1,378
株主資本合計	116,170	118,996
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,423	9,963
土地再評価差額金	30,842	31,712
その他の包括利益累計額合計	39,266	41,675
少数株主持分	2,685	2,772
純資産合計	158,121	163,444
負債純資産合計	653,462	654,763

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月 1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月 1日 至 平成25年6月30日)
営業収益	68,039	70,887
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	54,372	56,290
販売費及び一般管理費	6,272	6,077
営業費合計	60,644	62,367
営業利益	7,395	8,519
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	266	295
持分法による投資利益	—	9
雑収入	217	201
営業外収益合計	488	510
営業外費用		
支払利息	1,217	1,106
持分法による投資損失	3	—
雑支出	133	162
営業外費用合計	1,355	1,268
経常利益	6,528	7,761
特別利益		
補助金	171	144
固定資産売却益	—	52
工事負担金等受入額	39	2
特別利益合計	211	198
特別損失		
固定資産売却損	—	79
固定資産除却損	24	23
減損損失	5	4
固定資産圧縮損	54	2
特別損失合計	84	110
税金等調整前四半期純利益	6,655	7,850
法人税、住民税及び事業税	2,851	2,797
法人税等調整額	△356	△182
法人税等合計	2,494	2,614
少数株主損益調整前四半期純利益	4,160	5,235
少数株主利益	113	128
四半期純利益	4,047	5,107

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月 1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月 1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,160	5,235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,664	1,540
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	—
その他の包括利益合計	△1,665	1,540
四半期包括利益	2,495	6,776
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,387	6,646
少数株主に係る四半期包括利益	108	129

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	不動産業	流通業	レジャー・サービス業	その他の事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
営業収益								
外部顧客への営業収益	22,663	15,296	23,366	6,472	240	68,039	—	68,039
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	327	2,631	72	8	143	3,182	(3,182)	—
計	22,990	17,927	23,438	6,480	384	71,221	(3,182)	68,039
セグメント利益	2,855	3,675	556	270	16	7,372	22	7,395

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	不動産業	流通業	レジャー・サービス業	その他の事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
営業収益								
外部顧客への営業収益	22,709	18,134	23,093	6,683	267	70,887	—	70,887
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	326	2,505	87	6	152	3,077	(3,077)	—
計	23,035	20,640	23,180	6,689	419	73,965	(3,077)	70,887
セグメント利益	3,187	4,283	706	299	23	8,500	19	8,519

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「運輸業」セグメントで管理していた(株)京阪エンジニアリングサービスを、管理区分の変更に伴い「不動産業」セグメントへ移管しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当該変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。